

会議等の意見対応

■第3回策定委員会（11/11）

No	検討資料	主な意見・指摘事項	対応・方針
1	資料3 P54	浸水想定区域図が愛知県のもの と豊明市のもの2つ掲載されてい るが違いは何か。また、両方掲載す る必要があるか。 (横山委員)	・愛知県の洪水浸水想定区域図は、境川・逢妻 川が氾濫した際に浸水するエリアを示すも のです。豊明市の都市浸水想定区域図は、豪 雨（1時間あたり52mm）の際に、河川などに 排水しきれずに都市内で浸水するエリアを 示しています。分かりやすく両図面が何を示 すものかの説明を加えます。 ⇒計画書P35に反映
2	資料3 P75-77	誘導施設の定義が必要ではないか。 市民へ公表する計画としては今の 表現でも構わないが、これから事業 者が届出を行う際に、施設の定義が ないと該当するかどうか分からない。 (大見委員：代理)	・施設の定義を追加します。 ⇒計画書P80に反映
3	資料3 P75-77	誘導施設は、新たに誘導すること と、既存施設を維持することの区別 が必要ではないか。豊明駅周辺で狭 い都市機能誘導区域にさらに保育 園を誘導するという誤解を与える 可能性がある。 (大見委員：代理)	・各都市機能誘導区域における誘導施設の設 定で区別して記載します。 ⇒計画書P77-79に反映
4	資料3 P80-81	全体的に市独自の施策が「検討す る」など弱いと感じる。 (小林委員)	・施策の実現可能性を踏まえ、再度検討しまし たが、今の記載に留めることとしました。
5	資料3 P81	健康増進施設の誘導施策がないが、 届出制度だけでは誘導は進まない と感じている。豊明団地周辺地区に 誘導施設として位置づけるのであ れば、誘導施策が必要ではないか。 (小林委員)	・施策として補助制度等を追記します。 ⇒計画書P83に反映

※資料番号、資料ページは第2回策定委員会の資料に対応

No	検討資料	主な意見・指摘事項	対応・方針
6	資料 3 P84-87	施策に対して目標値があるが、その間にもうワンクッション指標があった方が、施策と目標値の因果関係が分かり、PDCA には役立つのではないか。 (成瀬委員)	・指標については、計画の中で示すのかどうかも含めて検討します。 ⇒進捗管理の際に必要なに応じて施策に関する指標等を用いて要因分析を行い、施策や計画の見直しを行います。
7	資料 3 P86	藤田医科大学は、健康長寿課とともに高齢者が長生きできる環境整備を目指しており、高齢者の寿命が延びると、子育て世代の割合は低下してしまうと考える。割合ではなく実数で示すということもあるのではないか。 (石原委員)	・ご意見を踏まえ、併記している実数の方を目標値とすることとします。 ⇒計画書 P88 に反映

※資料番号、資料ページは第 2 回策定委員会の資料に対応

■住民説明会 (12/1)

No	主な意見・質問事項	回答
1	健康増進施設とはどのような施設のことを言うのか。医療施設も含まれているのか。	・健康増進施設は、民間のフィットネス等自分で体を動かすような施設や介護予防につながるような施設を想定しています。
2	高齢者が暮らしやすいというよりも生きがいを持てる環境づくりが必要ではないか。	・生きがいを持って活動する大前提として、車に頼らなくても生活できるまちを目指すことが立地適正化計画の主旨になります。
3	人を増やすことと税収を増やすことを考えないといけない。好立地な土地が使われずにいる状況があるが、そこもまちづくりの観点から活用していくことを考えることが必要である。	・工業団地の造成も進め、人を増やすことと並行して、法人税の税収を上げることも進めています。好立地な土地は都市機能誘導区域にも含まれており、活用を検討していきます。

■パブリックコメント

実施概要：令和元年12月6日（金曜日）～令和2年1月15日（水曜日）

提出件数：2件

No	ご意見	市の考え方
1	<p>市内でも空き家が点在しており、周辺に悪影響を及ぼす空き家の撤去に税金が使われる可能性があることに疑問を感じる。</p> <p>市独自の施策として、税金が使われることなく、周辺に悪影響を及ぼす空き家への対処を考えていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>空き家の発生は市の課題として認識しております。市の税金を使う、使わないの議論も重要です。まずはそのような周辺に悪影響を及ぼす空き家が発生しないように、空家等対策計画に基づいて、空家等の所有者に対して空家にしないように適切な管理を促し、必要に応じて利活用を促進することを中心として対策に努めてまいります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・車に頼らない都市づくり ・健康の維持（自分の足で活動） ・教育の質の向上（図書館の利便性向上、駅に図書館の併設等） ・路面電車の整備 ・学習、読書、アンテナショップなどの多目的スペースの整備 ・フィットネス施設（公共） ・カフェ、飲食店の誘致 ・子ども、一人暮らし高齢者向けの給食 など <p>上記について推進してほしい。</p>	<p>まちづくりに関するたくさんのご提案ありがとうございます。「車に頼らない都市づくり」は本計画においても重要なキーワードであり、そのために、日常生活に欠かせないサービスを拠点に誘導する方針を示しています。併せて拠点間をつなぐバス等の公共交通網の充実も図っていくこととしています。車に頼らずに生活できれば、自分の足で移動する機会も増え、健康の維持にもつながります。フィットネス施設についても、本計画の中で、健康増進施設として誘導する方針を示しています。</p> <p>その他の貴重なご提案も、総合計画や都市計画マスタープラン、その他個別計画の中で今後検討していきます。</p>